

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ」




○覚醒剤等の薬物を社会から追放するためには、あなた自身が甘い誘惑に乗らないこと、もちろん、あなたの周りで覚醒剤等の薬物を扱っている人を見たり聞いたとき、警察署に駐在所までご連絡ください。

○日本は、覚醒剤、大麻などの大きな消費大国となっています。
 愛知県内で覚醒剤等の薬物事犯で検挙された人は、平成8年以降、1000人を超える高水準が続いています。
 ○5月初旬、足助警察署管内においても覚醒剤を所持した疑いで逮捕した事案が発生しました。
 ○薬物の乱用は、家庭の崩壊を招いたり、その悲劇は本人にとどまりません。覚醒剤や大麻は興味本位から気軽に手を出したり、覚醒剤がやせる薬などと騙して勧められたり、何か格好いもの、と錯覚して手を出したりするなど、若者の間で汚染が広がっています。

覚醒剤 大麻等の乱用をなくそう



発行 
 足助警察署
 62-0110
 所在地 交番
 明川駐在所
 東大島駐在所
 御蔵駐在所



横断歩行者の事故多発

4月下旬、明川町のグラウンドで、反射材付きタスキを配布しました。
 夕暮れ時や夜間の歩行の際に着用しましょう！

足助地区の犯罪と交通事故発生状況

		4月	年計	昨年比
犯罪		0件	2件	-5
交通事故	死亡	0人	0人	±0
	人身	3件	3件	-1
	物損	21件	63件	+13

犯罪と交通事故をこの地域からなくそう



油断しない 安全に見えても危険かも
 山、川は見た目で危険がわからない

気温の上昇とともに、登山や川遊びなどのアウトドアレジャーが盛んになります。
 自然に触れるレジャーは、楽しみがある反面、自然ならではの危険もあり山岳遭難・水難事故も発生しています。
 足助警察署では、不測の事態に備え、4月下旬大賀町地内の寧比曾岳で山岳遭難対応訓練(写真)を行いました。
 アウトドアでの事故を防ぐためには、自然を甘く見ず、危険をきちんと認識し計画を立てて行動することが大事です。



